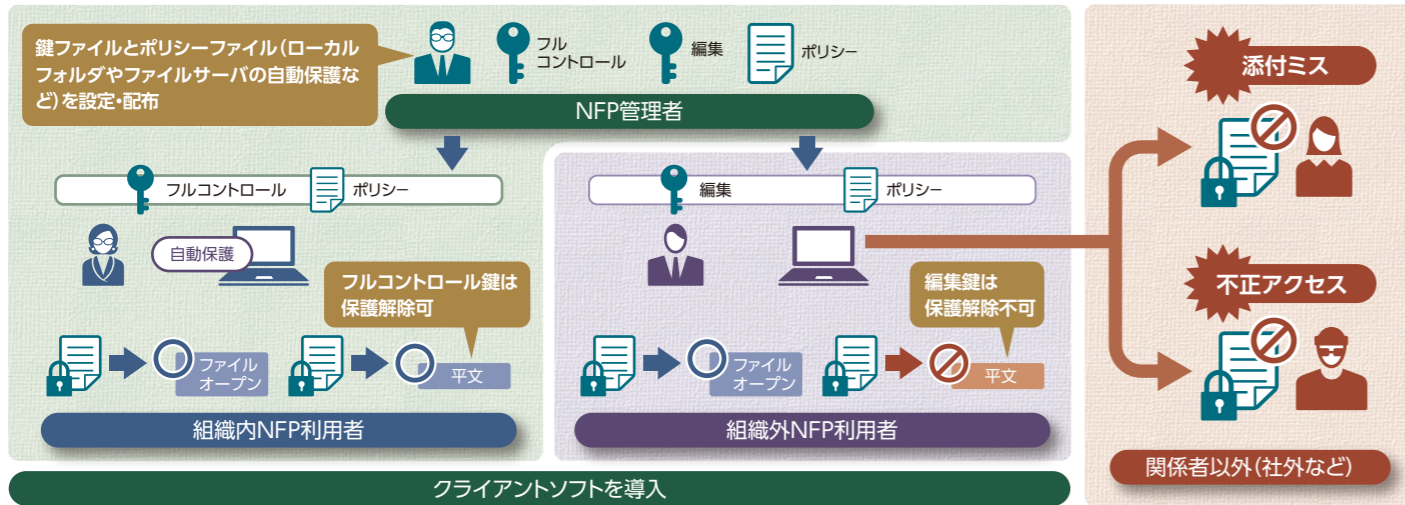


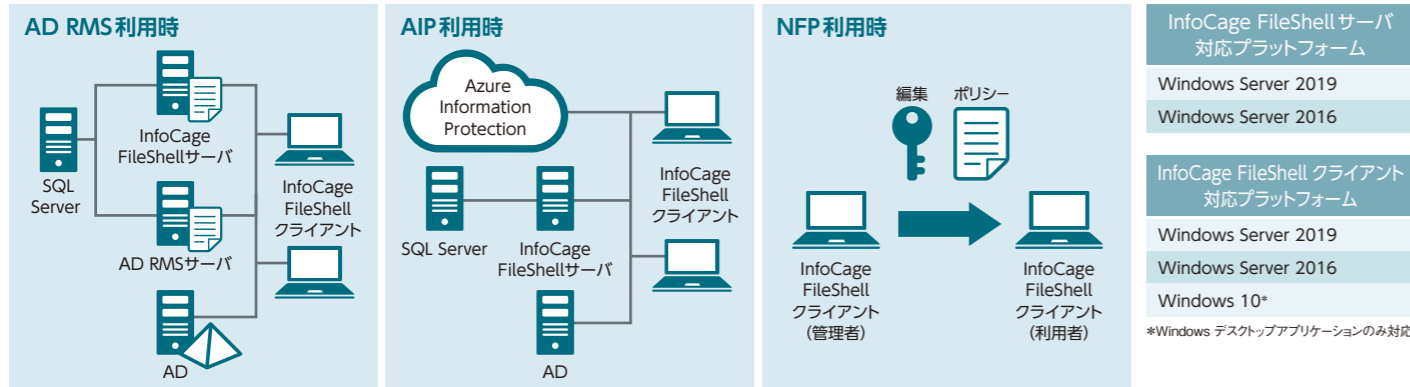
鍵ファイルを用いたInfoCage FileShell NEC File Protection Edition(NFP)

●AD RMSやAIPを使わずに導入できるエディションもご用意

- サーバレス構成が可能** ▶ サーバの代わりに管理者が鍵とポリシーを作成しファイルで利用者に展開
- 変わらない操作性** ▶ 配られた鍵で自動的に保護
利用者は保護を意識せず利用可能



動作環境



●本例はあくまで参考情報であり、冗長化等の構成は導入の際、実環境に合わせた構成を考慮する必要があります。 ●InfoCage FileShell サーバおよびAD RMSサーバの動作要件として、ADおよびSQL Serverが必要になります。 ●InfoCage FileShell サーバを構築しない構成も可能です。

製品構成

製品名	概要
InfoCage FileShell メディアキット	InfoCage FileShell サーバおよびInfoCage FileShellクライアントのソフトウェア
InfoCage FileShell ベースライセンス	設定されたポリシーに従い、ファイルの保護やアプリケーションの制御を行うためのユーザライセンス
InfoCage FileShell NEC FileProtection Edition ライセンス	NFPを利用するためのユーザライセンス(ベースライセンスも必要)
InfoCage FileShell プロテクタ for SharePoint Server	SharePoint ServerのIRM機能を拡張し、さまざまな形式のファイルを保護するためのソフトウェアとライセンス
InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバ	InfoCage FileShellクライアントが導入されていないPCや業務システムからファイルサーバにファイルが格納された時に自動で保護するためのライセンス
InfoCage FileShell 持出閲覧オプションユーザライセンス	InfoCage FileShellクライアントの機能を拡張し、持出閲覧形式で保護するためのユーザライセンス
InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションユーザライセンス	InfoShellシステムを導入したADとは別ドメインにログインしている場合に表示される、ファイル利用時の認証画面へID/パスワードの入力を自動化するためのユーザライセンス

●別途、OS、SQL Server、AD RMS、Azure Information Protection等のMicrosoft社のライセンスが必要です。 ●InfoCage FileShell プロテクタ for SharePoint Server を利用する場合は、別途、SharePoint Serverが必要です。 ●InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバを利用する場合は、別途、InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバが必要です。 ●InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバは保護専用です。ファイルを開覧・保護解除するにはInfoCage FileShellクライアントが必要です。 ●InfoCage FileShell 持出閲覧オプションを利用する場合は、別途、InfoCage FileShell 持出閲覧オプションのメディアキットが必要です。 ●InfoCage FileShell 持出閲覧オプションのみのご利用はできません。 InfoCage FileShellクライアントが必要です。 ●InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションを利用する場合は、別途、InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションのメディアキットが必要です。 ●InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションのみのご利用はできません。 InfoCage FileShellクライアントが必要です。

お問い合わせは、下記へ

NEC ファーストコンタクトセンター
ソフトウェアお問い合わせ窓口

TEL:0120(58)0595

【受付時間】9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)

<https://jpn.nec.com/infocage/fileshell/>

●本カタログ中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 ●本製品の輸出(非居住者への業務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認ください。 ●必要手続きをお取りください。 ●不明な場合、または輸出許可等申請手続きに必要資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。 ●本カタログに掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

機密情報保護ソフトウェア

InfoCage FileShell

インフォケージ ファイルシェル



Microsoft社のIRM*1を用い さまざまな場所のファイルを自動保護(認証+暗号化) ファイルが流出しても読めない安心な経営基盤を実現。

機密情報保護における問題と対策事例

経営リスクに繋がる機密情報の漏えいを防止!

問題

- 標的型攻撃の高度化、改正個人情報保護法により、機密情報(技術情報、個人情報)の漏えいリスクはますます高まり、経営リスクに。
- 機密情報を利用者に区別させるような**利用者のモラルに依存した対策の限界**。
- セキュリティ強化による、**業務効率低下の懸念**。

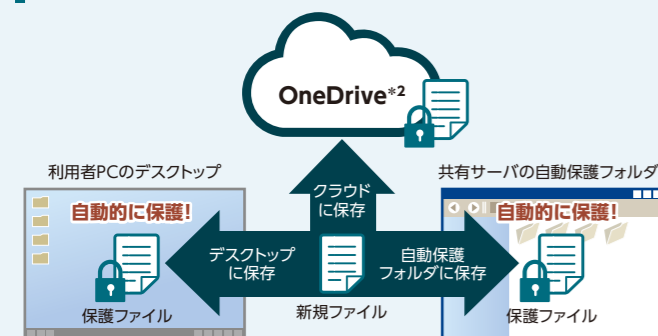
対策

- 「**ファイルが流出しても読めない安心感**」で「**安全・安心な経営基盤**」を確立する。
- 機密情報の判断を利用者任せにしない「**自動的なファイル保護**」。
- 「**利用者の操作性は変わらず**」セキュリティと利便性を両立。

InfoCage FileShellの特長

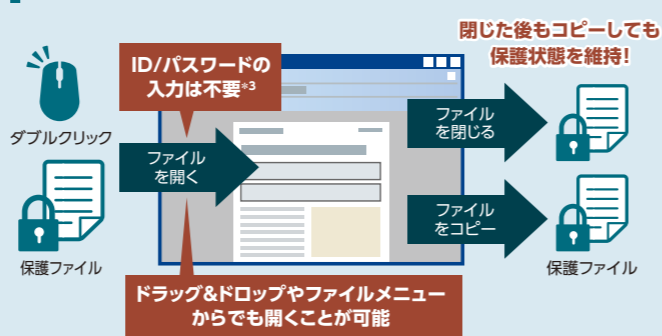
1 自動でモレなくファイルを保護

手作業で保護する必要はありません



2 導入後も利用者の操作は従来通り

保護されたまま編集・閲覧可能



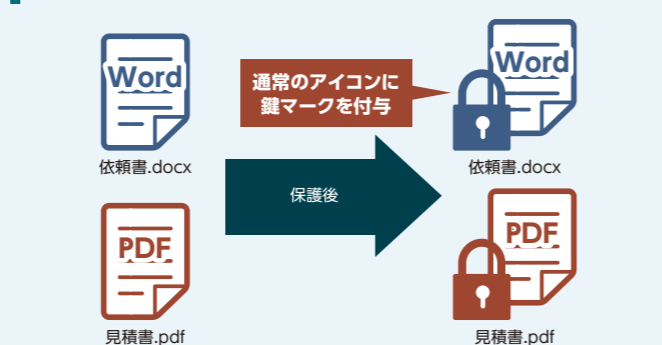
3 多種多様なファイルを保護

利用するアプリケーションも自由



4 保護済みファイルも簡単に視認

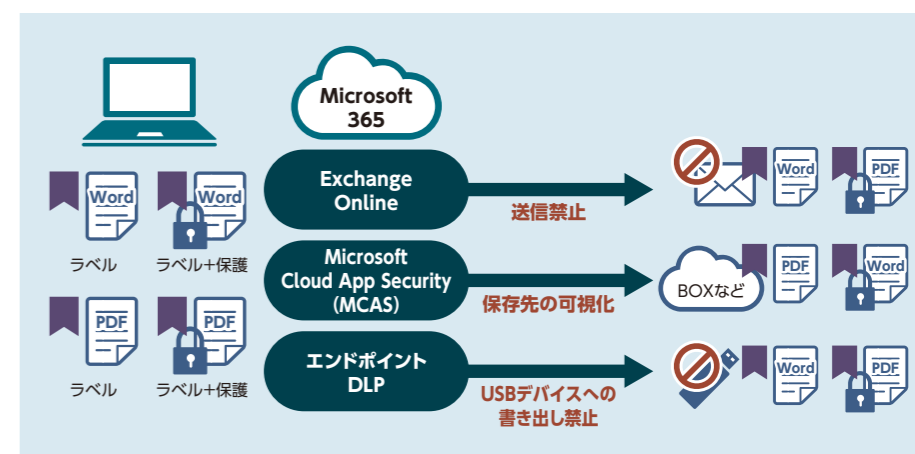
拡張子も変わらないため見失いません



*1: Information Rights Management *2: Microsoft OneDriveまたはMicrosoft OneDrive for Business *3: ホンシステムが参加しているActive Directoryにログイン時、もしくは簡易認証連携オプション利用時。

クラウドサービスとの連携を強化

Azure Information Protectionのラベル機能に準拠してOfficeファイル、PDFファイルを分類でき、Microsoft365の各種サービスと連携可能です。Officeファイル、PDFファイル以外は、拡張子を変えずに保護が可能です。



※ AcrobatまたはAcrobat Readerで保護されたファイルを表示するには以下URLのプラグインが必要
<https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/mip-plugin-download.html>

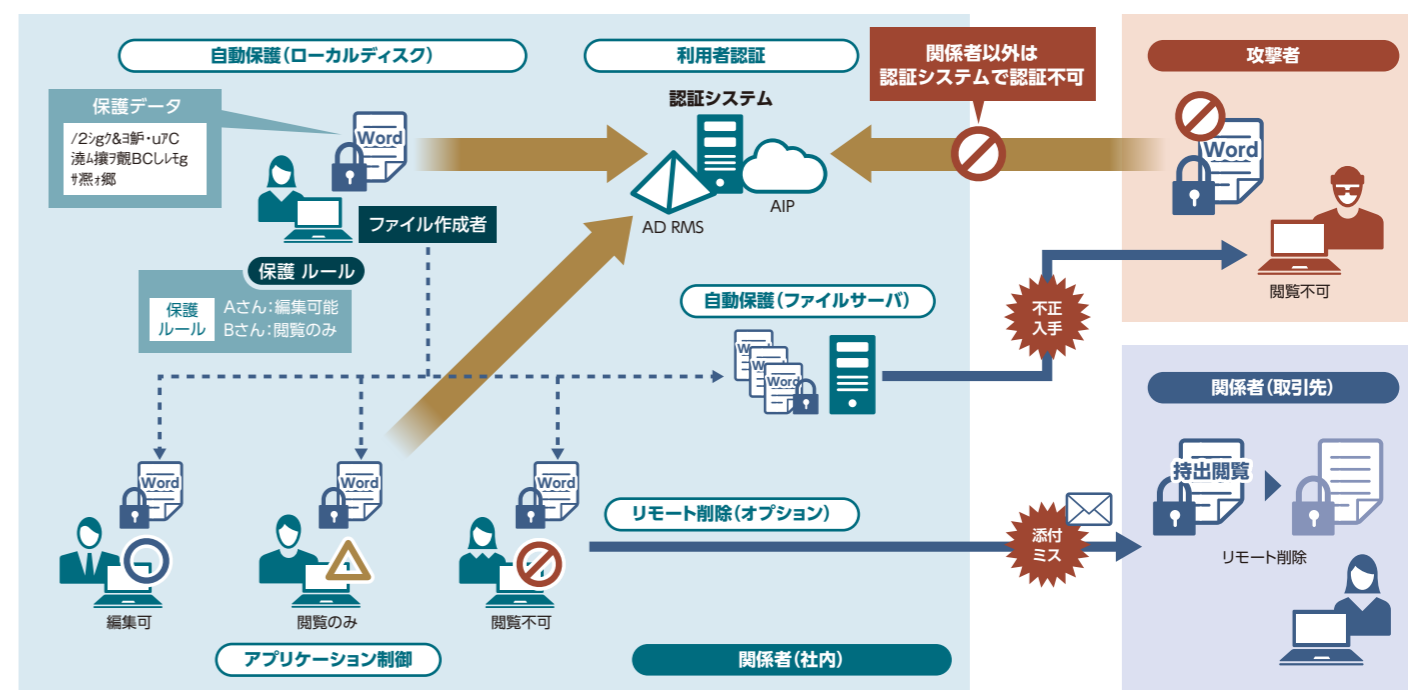
セキュリティと利便性の両立

- 保護したファイルの全文検索を実現(保護していないファイルも含む)
- 検索対象は、Windows Searchと同じ拡張子が設定可能



実現イメージ

- ファイル自身にセキュリティ情報を持たせ、ファイルがどこに存在しても、常にアクセスとアプリケーションの操作を制限。万が一、ファイルが漏えいしても、中身は漏えいしない安心できる環境を実現。
- 大切な情報を安心して任せられる基盤として、AD*1と連動して保護できるAD RMS*2およびAIP*3を採用。利用者の管理も変更不要。また、ADが無い場合もFileShell認証専用ADを構築することにより導入可能。



*1: Active Directory *2: Active Directory Rights Management Services *3: Azure Information Protection